

足立区立花保小学校
学校長 半田 英雄 様

足立区立花保小学校 開かれた学校づくり協議会
会長 齋藤 太
評価部長 野間 一夫

平成28年度 学校関係者評価書

1. 自己評価書全般について

(1) 重点的な取組－1 学力向上

SP表と個票の分析及び個別対策の時間を学年会に位置付け、児童個々に対する方策を練り、あらゆる時間を利用して既習事項の個別指導を行い、漢字検定や九九免許講習を通して基礎基本の習熟が図られている。この取り組みの結果、学習定着度調査における平均通過率および平均正答率がともに目標値、全国値を上回ったことは大いに評価できる。

(2) 重点的な取組－2 保育園・幼稚園・中学校との連携

地域の保育園・幼稚園との連携において、給食体験や図書室での読書体験、鉛筆指導やひらがな指導、交流遊びによって小学校進学への期待感を高めることができたことは評価できる。また、花保中学校との連携においては、情報交換、合同研修を通して教員の指導力向上を図ってきたとともに、生徒会との相互交流も有意義なものであった。花保中学校への進学者が増えたことは喜ばしい。

(3) 重点的な取組－3 教師の指導力向上

管理職や教科指導専門委員の指導と助言をもとに、研究授業と相互評価を行い授業の改善が図られ、管理職の授業評価目標全員B以上を達成したこと、および児童の授業満足度や保護者による学校評価が90%と高水準で目標を達成したことは評価できる。特に保護者による授業参観アンケートで「改善を要する」項目が0%であったことは、先生方の不断の努力が伺える。

(4) 重点的な取組－4 心の教育の充実

QU調査やライフスキル教育の計画的な実施において、児童の行動評価を行い、規範意識と自己肯定感を高めたことは評価できる。また、あいさつボランティアの活発な活動や表現集会、無言清掃の実施、百人一首暗唱等、児童の活躍の場を増やす取り組みは評価できる。また、「学校評価アンケート」の結果では、道徳授業の充実96%（目標90%）、明るく楽しい学校97%（目標95%）であった。ともに高い値であるが、さらなる向上を期待する。

2. 学校から提示された「課題」や「保護者・地域への期待」について

「学校評価アンケート」において、17項目中肯定的評価が90%以上14項目で80%以上が2項目とすばらしい結果である。しかし、読書のみが55%と低位であった。虫歯の治癒率（60%台）の向上とともに家庭での教育力を高めたい。学校と家庭が連携した取り組みを期待したい。また、開かれた学校づくり協議会は、学校の応援団として、あいさつ運動や「昔の暮らし」での講師や七輪での火おこし、漢検の手伝い等において、学校の教育活動を支える一助になったと思う。PTA活動にも積極的に関わり、「昔遊び」や「マシュマロ焼き」で楽しく活動できた。土曜事業である「花ほっ子」では、スポーツ、自然観察、茶道において子どもたちが楽しく参加できたことはひじょうに喜ばしい。好奇心、向上心、チャレンジ精神の旺盛な「花ほっ子」であった。これからも継続して取り組んでいきたい。

3. その他

校長先生のリーダーシップのもとに全教職員が一丸となって教育活動に取り組み、学力向上が図られていることはもとより、学校からの情報発信が的確に行われ、子どもたちの安心、安全が守られてきていることは評価したい。開かれた学校づくり協議会は、今後とも学校と家庭、地域の結びつきが一層深められるよう努力していく所存である。